

大会報告

第 65 回大会は、2023 年 8 月 24 日(木)・25 日(金)・26 日(土)の 3 日間、京都精華大学にてハイブリッド形式で開催された。

(第 62 回大会までは、詳細な大会報告を『会報』のみに掲載していましたが、第 63 回・64 回大会は、『会報』と『デザイン理論』に重複して掲載となっておりました。そこで、広報委員会の業務簡素化のため、この号より『会報』での詳細な大会報告は割愛させていただきます。つきましては、第 65 回大会報告の詳細は、『デザイン理論』83 号 pp.86-92 をご参照ください。)

総会報告

第 65 回総会は、2023 年 8 月 25 日(金) 16:00 より、京都精華大学において開催された。議事進行に先立ち、議長に面矢慎介会員が選出された。議長より、総会員数 311 名中、出席者が 31 名、委任状が 58 通、計 89 名であり、総会が成立する旨の報告があった。

議事 1. 2022 (令和 4) 年度
事業報告、収支決算および会計監査報告

〔2022 年度 事業報告〕

事務局担当 倉田委員より、2022 年度事業について、以下のように報告があった。

- 1) 第 64 回大会 2022 年 8 月 26 日(金)、27 日(土)、28 日(日)
於 大阪工業大学 梅田キャンパス
- 2) 研究例会
第 248 回 2022 年 5 月 7 日(土) 京都精華大学(ハイブリッド)
第 249 回 2022 年 11 月 12 日(土) オンラインにて実施
第 250 回 2023 年 3 月 4 日(土) オンラインにて実施
- 3) 刊行物(『デザイン理論』80・81 号、「会報」88 号(web 版))
- 4) 意匠学会賞 各賞の授与(第 64 回大会にて授賞式実施)
- 5) 役員会の開催(4 回)
- 6) 分科会(デザイン史分科会等)
- 7) 会員の募集
- 8) 広報活動の推進
- 9) 他学会等との交流(藝術学関連学会連合、デザイン関連学会連携シンポジウム等)
- 10) 役員選出選挙の実施

〔2022 年度収支決算報告〕

事務局会計担当 倉田委員より、2022 年度収支決算が報告された(表 1 参照)。

〔2022 年度会計監査報告〕

会計監査 上田委員より、適正に処理されているとの報告があった。

議事 1 について、異議なく承認された。

議事 2. 2023（令和 5）年度

事業経過報告および予算案（当初及び補正）

〔2023 年度事業経過報告〕

事務局担当 倉田委員より、2023 年度事業の経過および今後の予定について、以下の報告があった。

1) 第 65 回大会開催 2023 年 8 月 24 日（木）、25 日（金）、26 日（土）
於 京都精華大学（ハイブリッド）

2) 研究例会

第 251 回 2023 年 5 月 13 日（土）

大阪大学中之島センター（ハイブリッド）

第 252 回 2023 年 11 月 4 日（土） オンライン予定

第 253 回 2024 年 2 月 10 日（土） オンライン予定

3) 分科会（ウィリアム・モリス研究会等）

4) 刊行物（『デザイン理論』82・83 号、「会報」89 号（web 版））

5) 会員の募集

6) 広報活動の推進

7) 意匠学会賞 各賞の授与

8) 国際交流委員会の活動

9) 役員会の開催（5 回）

10) 他学会等との交流（藝術学関連学会連合、デザイン関連学会
連携シンポジウム、ACDHT 2023 TOKYO 等）

〔2023 年度当初予算および補正予算案〕

事務局会計担当 倉田委員より、2023 年度当初予算および補正予算案が説明された（表 2 参照）。

議事 2 について、異議なく承認された。

議事 3. 2024（令和 6）年度 事業計画案および予算案

〔2024 年度事業計画案〕

事務局担当 倉田委員より、2024 年度事業計画案について、以下の
ように説明があった。

1) 第 66 回大会の開催（総会を含む）1 回

2) 研究例会（見学会を含む） 3 回

総会報告

- 3) 分科会（ウィリアム・モリス研究会等） 1回
- 4) 刊行物（『デザイン理論』84・85号、「会報」90号（web版））
- 5) 会員の募集
- 6) 広報活動の推進
- 7) 意匠学会賞 各賞の授与
- 8) 国際交流委員会の活動
- 9) 役員会の開催（4回）
- 10) 他学会等との交流（藝術学関連学会連合、デザイン関連学会連携シンポジウム等）

〔2024年度予算案〕

事務局会計担当 倉田委員より、2024年度予算案が説明された（表3参照）。

議事3について、異議なく承認された。

議事4. 学会運営に関して

高安会長から、HPのリニューアルに向けた取り組みについて説明があった。また、対面でおこなう学会活動の意義についての意見が述べられ、新たな取り組みの必要性が示された。

議事4について、異議なく承認された。

議事5. 藝術学関連学会連合報告・デザイン関連学会シンポジウム報告

高安会長から、以下の報告があった。

・ 藝術学関連学会連合シンポジウムは、6月3日に広島平和記念資料館にて開催され、意匠学会は近藤委員が発表した。

・ デザイン関連学会シンポジウムは、9月30日にオンラインで開催予定である。

議事5について、異議なく承認された。

議事6. 会則変更

高安会長から、以下の変更案が示された。

会則 第1章 総則 第3条 「3. 意匠学会賞・論文賞の授与」に「意匠学会作品賞」を加える。

議事6について、異議なく承認された。

議題7. その他

高安会長から、『デザイン理論』投稿ガイドのリンクについて案内があった。

議事7について、異議なく承認された。

閉会にあたり、藤田名誉会員より挨拶があり、以上をもって、総会を閉会した。

なお、引き続き、2022(令和4)年度 意匠学会各賞の授与式が行われ、以下の会員に各賞が授与された。

「意匠学会賞」受賞者：なし

「意匠学会論文賞」受賞者：千代 章一郎

「意匠学会作品賞」受賞者：佐々木 一泰、井上 明彦

表 1. 2022 (R.4) 年度収支決算 (2023 年 8 月 25 日承認)
自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日

収入の部		
事 項	予算額 (補正)	決定額
前年度よりの繰越金	9,419,388	9,419,388
会費会費	2,488,000	2,136,000
	(8,000×311)	①(8,000×260)
雑収入	0	0
利息	0	12
計	11,907,388	11,555,400

支出の部		
事 項	予算額 (補正)	決定額
『デザイン理論』編集費	10,000	10,000
『デザイン理論』印刷費	1,000,000	760,320
大会補助費	250,000	268,463
例会費	30,000	10,000
分科会費	10,000	0
ホームページ作成・維持費	10,000	7,520
学会賞等奨励金	150,000	100,000
藝術学関連学会連合会費	15,000	15,000
デザイン関連学会連携シンポジウム	0	0
事務費	50,000	47,835
旅費	60,000	2,930
予備費	50,000	0
業務委託業務費	630,000	626,534
業務委託立替金	0	0
編集委員会 幹事委託料	100,000	100,000
本部事務局 幹事委託料	100,000	100,000
広報委員会 幹事委託料	100,000	100,000
国際交流委員会 活動費	50,000	49,500
選挙関連	50,000	60,326
名簿印刷費	0	0
次期繰越金	9,242,388	9,296,972
	11,907,388	11,555,400

会員状況
2023/3/31 現在 (2022 年度入会者数 10 名 退会者数 9 名)

会員数	
会員種別	数
正会員	310
顧問	1
総計	311

計算式①の資料
2022 年度会費納入額 2022/4/1~2023/3/31

年度分	2023	2022	2021	2020	総計
件数	3	238	14	5	260
入金額	24,000	1,904,000	112,000	96,000	2,136,000

表2. 意匠学会 2023 (R.5) 年度 予算及び補正予算案
(2023年8月25日承認)

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

収入の部		
事 項	予算額(当初)	予算額(補正)
前年度よりの繰越金	9,242,388	9,296,972
会員会費	2,488,000	2,488,000
	(8,000×311)	(8,000×311)
雑収入	0	0
利息	0	0
計	11,730,388	11,784,972

表3. 2024 (R.6) 年度 予算案
(2023年8月25日承認)

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

収入の部	
事 項	予算額
前年度よりの繰越金	9,039,972
会員会費	2,488,000
	(8,000×311)
雑収入	0
利息	0
計	11,527,972

支出の部		
事 項	予算額 (当初)	予算額 (補正)
『デザイン理論』編集費 (2023～25年)	10,000	20,000
『デザイン理論』印刷費	1,000,000	1,000,000
大会補助費	250,000	250,000
例会費	30,000	30,000
分科会費	10,000	10,000
ホームページ作成・維持費	10,000	10,000
学会賞等奨励金	150,000	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000	15,000
デザイン関連学会連携シンポジウム	0	0
事務費	50,000	50,000
旅費	60,000	60,000
予備費	50,000	50,000
業務委託金	630,000	630,000
国際交流委員会 活動費	50,000	50,000
編集委員会幹事委託料	100,000	200,000
本部事務局幹事委託料	100,000	50,000
広報委員会幹事委託料	100,000	150,000
選挙関連	0	0
名簿印刷費	250,000	0
会計事務費 (2023～25年)	0	20,000
次期繰越金	8,865,388	9,039,972
計	11,730,388	11,784,972

支出の部	
事 項	予算額
『デザイン理論』編集費 (2023～25年)	0
『デザイン理論』印刷費	1,000,000
大会補助費	250,000
例会費	30,000
分科会費	10,000
ホームページ作成・維持費	10,000
学会賞等奨励金	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000
事務費	50,000
旅費	60,000
予備費	50,000
業務委託業務費	630,000
名簿維持管理費	200,000
名簿電子化	500,000
国際交流委員会 活動費	50,000
編集委員会幹事委託料	200,000
本部事務局幹事委託料	50,000
広報委員会幹事委託料	150,000
選挙関連	0
会計事務費 (2023～25年)	0
(支出合計)	(3,405,000)
次期繰越金	8,122,972
計	11,527,972

一般会務報告

2023年度 第1回役員会 議事録

日時：2023年4月22日（土）13:30～15:00

オンライン

参加者：高安啓介、谷本尚子、三木順子、羽藤広輔、竹内有子、山本政幸、神野由紀、多田羅多起子、前崎信也、並木誠士、伊原久裕、今井美樹、村井陽平、天貝義教、千代章一郎、佐藤博一、平光睦子、近藤存志、吉村典子、吉羽一之、青木美保子、大森正夫、多田羅景太、下出茉莉、和田積希

〔審議事項〕

議題1. 運営組織の承認について

資料が提示され、承認された。

議題2. 名誉顧問の推薦について

高安会長の推薦を経て、藤田 治彦元会長、塚田 章元会長が、名誉顧問として選出された。

議題3. 第14回日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦について

資料が提示され、候補者があれば期日までに会長に報告することとなった。

議題4. 日本建築学会協賛依頼について

資料が提示され、協賛することとなった。

議題5. 後援依頼について

要真理子会員からウィングダム・ルイスにかかわる講演会への後援の依頼があり、後援することとなった。

議題6. 入退会者の承認

入会希望者：WANG HAOJUE、田畑 絵梨奈

退会の確認：平芳 幸浩、遠藤 敏明

承認された。

議題7. 前回議事録の承認

承認された。

〔報告事項〕

①今後のスケジュールについて確認

年間行事一覧をホームページに掲載できるか、広報委員会において検討することとなった。

②2023 年度大会について

8 月 24 日（木）25 日（金）26 日（土）に京都精華大学で実施する大会において、会費を、会員 1,000 円、非会員 2,000 円、学生全員 無料、シンポジウム 無料とすることとなった。

③その他

- ・国際交流委員会より、ACDHT のアブストラクトの提出が 5 月 7 日に延期になったという報告がなされた。
- ・広報委員会より、ホームページに情報を載せる時の手続きについて説明がなされた。

〔懇談事項〕

- ①学会のかかえる課題を出し合った。

2023 年度 第 2 回役員会 議事録

日時：2023 年 5 月 13 日（土）10:00 ～ 12:00

場所：大阪大学中之島センター（ハイブリッド）

参加者：高安啓介、谷本尚子、三木順子、羽藤広輔、伊集院敬行、山本政幸、川島洋一、神野由紀、前崎信也、並木誠士、伊原久裕、今井美樹、村井陽平、天貝義教、橋本啓子、近藤存志、吉村典子、吉羽一之、青木美保子、大森正夫、佐々木一泰、倉田麻里絵、岡田弥生、和田積希、下出茉莉

〔審議事項〕

議題 1. 前回議事録の承認

承認された。

議題 3. 2023 年度大会の実施について

資料にもとづき発表の可否について審議をおこなった結果、6 件のパネル発表、12 件の研究発表を認めることとなった。

複数人による発表を認めるかについて議論をおこなった結果、次のことが申し合わせ事項となった。

- ①各人の研究への積極的な役割が認められるかぎり、複数人での学会発表を認めるものとする。
- ②研究発表は、かならず筆頭研究者を定める。
- ③ポスター発表は、2～3 人の場合は対等な共同発表でもかまわないが、それ以上の場合には筆頭研究者を定める。

谷本委員より 8 月 24～26 日に京都精華大学にて開催される大会のプログラムの提案がなされた。役員会は 8 月 24 日（木）10:00 ～

一般会務報告

12:00 におこなう。プログラムの時間は、上記の発表件数にあわせて修正をおこなうこととなった。

議題 3. 予算案について

資料にもとづき 2022 年度収支決算書、2023 年度補正予算、2024 年度予算案について審議がおこなわれ、次のことが確認された。

- ①今年度の幹事手当については、編集幹事それぞれに 10 万円、事務局幹事には 5 万円、広報ウェブ担当幹事には 10 万円、広報庶務幹事には 5 万円支給するものとする。
- ②国際交流委員会の活動費は、もっぱら 2 年に 1 度開催される ACDHT のための費用であるが、従来どおり毎年 5 万円として、不開催の年の分は積み立てるものとする。
- ③デザイン関連学会はオンラインで開催されるようになり費用がかからなくなったため、2023 年度より予算項目から外す。
- ④学会員名簿は、紙での発行をやめるが、電子化にともなう費用が発生することが予想されるため、従来通りの金額をあてる。

議題 4. 学会賞の選考について

学会賞選考委員会より、2022 年度の意匠学会論文賞を、千代章一郎会員の「「装備」の制作におけるシャルロット・ペリアンとル・コルビュジエの共同性」としたいという提案があり、了承された。なお、論文賞・作品賞という区分け、および作品賞において何を選考対象とするかについて議論となり、学会賞選考委員会において検討することとなった。

議題 5. 名簿の作成について

今年度発行することになっている学会員名簿について、紙での発行をやめ、オンラインで閲覧できるようにすることを、事務局で検討することとなった。

議題 6. 例会の開催について

11 月例会は未定、2 月例会は近畿大学にて対面でおこなうこととなった。

議題 7. 入退会者の承認

入会希望者：辻川 愛理、李 林旭、石田 桂子

退会の確認：小池 志保子

承認された。

〔報告事項〕

①各委員会から報告

・国際交流委員会より、本年度の ACDHT 開催と、これまでの論集のリポジトリ登録について報告がなされた。

②行事スケジュールについて確認をおこなった。

〔懇談事項〕

ホームページのリニューアルの必要があることが確認され、現在の役員の任期の3年間のうちに実現することとなった。費用は、繰越金をあてる。広報委員会はいくまで通常の更新作業にあたるものとし、ホームページのリニューアルは、ワーキンググループで検討をおこない準備を進めることとなった。おおよその進め方は以下の通り。

① ウェブサイトに詳しい専門家の入会を勧めるとともに、会員のうちに適任者がいれば事務局に推薦する。

② 本年度の8月の役員会においてワーキンググループを結成する。

③ 今年度中に、リニューアルの骨子を定める。

④ 2024年度に、リニューアルに向けて具体的な作業を進める。

⑤ 2025年度中に、新しい学会のウェブサイトを立て上げる。

2023年度 第3回役員会 議事録

日時：2023年8月24日（木）10:00～12:30

場所：京都精華大学清風館2階 C-206 教室

ハイブリッド

参加者：高安啓介、三木順子、羽藤広輔、伊集院敬行、川島洋一、神野由紀、多田羅多起子、前崎信也、要真理子、並木誠士、伊原久裕、村井陽平、佐藤博一、平光睦子、橋本啓子、近藤存志、吉村典子、吉羽一之、青木美保子、大森正夫、佐々木一泰、倉田麻里絵、多田羅景太、和田積希

〔審議事項〕

議題1. 前回議事録の承認

承認された。

議題2. 総会資料の確認

総会に先立ち資料の確認がなされ、一部修正箇所が確認された。

議題3. 例会の開催について

本年度については以下のように実施することになった。

2022年11月4日（土）オンライン

2023年2月10日（土）オンライン

一般会務報告

年 3 回実施される例会の全部もしくは何度かはオンラインで実施する。

議題 4. 役員組織について

学会賞選考委員会の役員一人の欠員にともない委員会から新たな役員を推薦する。

10 月以降のデザイン関連学会担当は、谷本委員と三木委員とする。

議題 5. 会員名簿等の電子化について

会員名簿に加え、入退会業務、選挙において、オンライン化した場合について、毎日フォーラムに見積もりの作成を依頼し、高安会長・佐々木委員・多田羅（景）委員が担当者と話し合った。見積もりは、初期設定費用（18 万円程度）、選挙設定費用（5 万円程度）名簿作成（18 万円程度）、加えて年維持費用（20 万円程度）、選挙時費用（5 万円程度）と出てきた。

事務作業を可能なかぎり減らすため電子システムを入れることで承認がなされたが、慎重を期すために来年度に導入することとなった。

議題 6. ホームページ作成ワーキングについて

ホームページのリニューアルのためのワーキンググループについて審議した結果、メンバーは、高安会長・佐々木委員・多田羅（景）委員・谷本副会長・三木副会長・吉羽委員となった。

ホームページを 3 年間で完成させるべく、準備をおこなう。

議題 7. 学会活動の区分について

成果（学術研究／デザイン活動）発表（研究発表／パネル発表）雑誌（学術論文／発表要旨）受賞（学会賞／論文賞／作品賞）の関係など、学会活動全般について審議をおこなった。

現在おこなっている研究発表、パネル発表のほかに、会員でない学部学生のための作品発表会や、研究紹介を目的とするパネル発表会もおこなうことを確認した。作品賞の名称については、そのまま維持するが、活動なども含むものとし、選考の範囲について規定にて明記することとなった。

議題 8. 事務費の取り扱いについて

以下の内容が承認された。

会計事務の簡略化のために、デザイン理論の編集を総括する委員長と副委員長には、それぞれに 3 年分の事務費を一括して 1 万円支払う。同様に、事務担当役員には 3 年分の事務費を一括して 2 万円支払う。この範囲で発送などの費用をまかなうものとする。

議題 9. 発表申し込みの案内文について

ホームページ上の発表申し込みの案内において必要な情報が十分に提示されておらず、発表要旨において書いてほしいこと（書かれていなければならないこと）の指示があっても良いと思われたことから、高安会長から文面の提案がなされた。提案についてさらに修正点が指摘されたため、次回の役員会において再度検討することとなった。

議題 10. 入退会者の承認

入会希望者：杉原 元美、伊藤 大貴

退会の確認：小坂 宗義、末包 伸吾、山口 良臣、竹多 亮子

承認された。ただし、入会希望者 伊藤大貴氏については、学会員の推薦がなかったため、本人からヒアリングをおこない、その結果に応じて判断することとなった。

議題 11. 意匠学各賞について

学会賞選考委員会関係 ① 学会賞の賞状の作成 28,561 円の費用が発生したとの報告がなされた。② 審査委員の補充をおこないたい要望があり、正式には次の役員会にて提案するものとした。③ 会則に作品賞の記載がないとの指摘があり、必要な修正をおこない、総会にかけることとした。④ 作品賞の活性化について学会賞選考委員会で検討をおこなっているが、次の役員会にてより具体的な提案をおこなうものとした。

〔報告事項〕

①芸術学関連学会連合から来年度のシンポジウムのテーマの募集について説明がなされた。

2023 年度 第 4 回役員会 議事録

日時：2023 年 11 月 4 日（土）10:00～12:20

オンライン

参加者：高安啓介、谷本尚子、三木順子、羽藤広輔、竹内有子、伊集院敬行、神野由紀、多田羅多起子、要真理子、並木誠士、伊原久裕、今井美樹、村井陽平、佐藤博一、平光睦子、橋本啓子、近藤存志、吉村典子、吉羽一之、大森正夫、佐々木一泰、倉田麻理絵、多田羅景太、下出茉莉

〔審議事項〕

議題 1. 前回議事録の承認

承認された。

一般会務報告

議題 2. 今後の例会の開催予定について
2023 年 11 月 4 日にオンラインで実施する。
多田羅景太（研究発表）
今井美樹ほか（報告と意見交換）

2024 年 2 月 10 日にオンラインで実施する。
毛 嘉琪（研究発表） そのほかの発表者は未定

2024 年 5 月（日時未定）近畿大学にて対面開催。
発表者は未定

議題 3. 発表のルール等について
研究発表の間隔について次のような申し合わせを設定することが承認された。「同一人物がおこなう研究発表は、原則として、最低 1 年の間隔を空けるものとする。ただしこの原則は、パネル発表や、特別企画には適用しない。また、博士論文の提出要件になっているため急いで発表しなければならない場合など、特別な場合については、役員会における審議によって、発表の可否を決定する」。
2重発表および2重投稿についてはチェックの段階で、細心の注意をはらう。

議題 4. 2023 年度大会の会計について
谷本委員より報告があり承認された。

議題 5. 2024 年度大会の計画について
2024 年度の意匠学会大会は、石川義宗会員が世話人となり、2024 年 8 月 22 日（木）から 24 日（土）の 3 日間、長野県上田市の長野大学（会場はサントミュージゼ）にて開催する。会場の確保など準備を進めている。

議題 6. ホームページ作成について
資料にもとづき、大まかな方針や、スケジュールが確認された。ワーキングメンバーで作業を進めるが、コンテンツの書き換えなどで、役員に協力してもらう必要がでてくる可能性がある。2026 年 3 月に完成に向けて準備をおこなう。
ホームページについて、コンテンツ管理をしやすいとする、英語ページを作成する、といった意見が出された。

議題 7. 学会活動の区分について
パネル発表については、大会のときに実施されてきた「会員作品発表会」に加えて、非会員の学生を対象とした「学生作品発表会」や、

研究ポスター発表としての「学術研究交流会」をおこなうこととし、次のように区別する。

- ① 会員作品発表会、大会時に実施、作品賞の対象、大学院生も会費を払えば可能。
- ② 学生作品発表会、奨励賞の対象、非会員の学生を対象とする。
- ③ 学術研究交流会、特別企画として不定期に実施、論文投稿不可、研究紹介としてのポスター発表。

以上について、次のように実施（検討）する。

- ①については、従来どおり実施する。
- ②については学会賞選考委員会において検討のうえで提案をおこなう。
- ③については、当番校企画として提案していくものとする。

議題 8. 発表申し込みの案内について

資料にもとづき、ウェブサイトに掲載されている発表申し込みの文章について提案がなされ、検討された。

提案はおおむね認められたが、上記の②非会員の学生を対象とする学生作品発表会と、③学術研究交流会についての記載は、詳細が明らかになるまで、省いておくこととなった。

議題 9. 学会賞委員について

一人辞退により欠員となっていた学会賞選考委員会の委員を、石川義宗会員（長野大学）に依頼することとなった。

議題 10. 未納者および退会者への対応について

未納者が 94 名近くいることから、当面の対応として、可能なかぎり連絡をとって、未払い分を請求する。以降は、3 年以上の未払い者は、自動的に退会あつかいとする。2 年以上会費未納会員の退会については、コロナ問題があったことから、当面の対応として 2 年分を請求する。会則第 7 条の文言について今後検討をおこなう。

〔報告事項〕

- ①各委員会から報告

デザイン関連学会シンポジウムは 6 月 15 日に開催の予定。

〔懇談事項〕

- ①会長から、会員サービスについて考えていく必要があることが示された。

一般会務報告

2023年度 第5回役員会 議事録

日時：2024年2月10日（土）10:00～12:00

オンライン

参加者：高安啓介、谷本尚子、三木順子、羽藤広輔、竹内有子、伊集院敬行、山本政幸、前崎信也、要真理子、多田羅多起子、並木誠士、伊原久裕、今井美樹、村井陽平、千代章一郎、佐藤博一、平光睦子、米屋優、橋本啓子、近藤存志、吉村典子、吉羽一之、青木美保子、佐々木一泰、倉田麻里絵、多田羅景太、下出茉莉、和田積希

〔審議事項〕

議題1. 前回議事録の承認

承認された。

議題2. 5月例会について

2024年5月25日（土）近畿大学にて対面開催することとなった。

発表者を募集。

議題3. 芸術関連学会シンポジウムについて

2024年6月1日（土）に東洋大学にて開催予定。テーマは「生成AI時代の芸術」。

意匠学会からの発表は、伊村靖子会員（国立新美術館）に依頼している。

議題4. デザイン関連学会シンポジウムについて

2024年6月15日（土）にて東北芸術工科大学で開催予定。オンラインでも配信予定。テーマは「私のデザイン的行為の中で創造性はどこから生まれるか」。意匠学会からの報告者は未定のため、自他薦があれば、近日中に担当の谷本副会長に知らせるとし、候補者の選定にあたっては、デザイン関連学会担当の谷本副会長・三木副会長に一任することとした。

議題5. 発表カテゴリーの再検討について

発表カテゴリーとそれに対応する賞について、学会賞選考委員会から原案の提案があり、続いて高安会長より、それを受けての修正案が出され、以下のように審議がなされた。

① 論文賞に加えて論文奨励賞をもうけるとともに、作品賞に加えて作品奨励賞をもうけることが提案された。学生であっても一位に値する仕事をおこなう場合もあり、社会人を経ての学生といった来歴もありうるので、上記の奨励賞は、学生を対象とする賞としては困難ではないかという意見が出された。そこで、奨励賞については、

次点あつかいとして、今後の活躍が期待される者とその優れた取り組みに対して必要に応じてあたえるものとする事となった。

② 研究にかかわるポスター発表については、例会当番校による特別企画として実施する可能性があるものとする。ただし、ポスターだけでは研究の真価を見定めることは困難であることから、賞の対象とはせずに交流企画として実施するものとした。

③ 非会員の学生を対象とした作品発表会は、大会の特別企画として実施する可能性があるものとし、発表をともなわないポスター掲示のみとすることとした。こちらも原則として賞の対象とはしないが、特別に優れた作品については特別賞をあたえることも可能とする。この作品発表会はおもに学部学生を念頭においている。会員でない大学院生はこちらにエントリーするか、会員となることをうながして通例の作品発表をおこなうかの二択を迫ることとなる。8月の上田での大会での実施の可能性をさぐる事とした。

議題 6. 2024 年度大会について

2024 年度意匠学会大会は、石川委員が世話人となり、2024 年 8 月 22 日（木）から 24 日（土）の 3 日間、長野県上田市の長野大学（会場はサントミュージゼ）にて開催する。会場の確保など準備を進めている。実施にあたっては、運営メンバーと連絡をとりながら進めることとする。3 月中に会員メールにて、大会のお知らせと発表の募集をおこない、5 月の役員会にて発表の可否を決定する。非会員の学生の作品発表会については、これまで検討をおこなってきた学会賞選考委員会（委員長・伊原委員）と実施の可能性をさぐるものとする。

議題 7. ホームページの刷新について

ホームページ作成ワーキングにて作業について検討をおこなっている。ホームページの方針は、① 斬新なデザイン ② 会員にとっての利便性 ③ 更新のしやすさ。仕様として付加されるべきは ① 端末に対応した可変ページ ② HTML 不要で更新 ③ 英語ページであることが確認された。

佐々木委員より新しいホームページの構成案（デザイナーに依頼する際の素案）が提示された。橋本委員（国際交流委員会委員長）から英語ページのコンテンツの提案がなされた。情報を掲示板に掲載する。提案があれば会長もしくは事務局によせる。

ホームページなどに使用するための学会名のロゴのデザインを募集

する。日本語名称「意匠学会」と英語名称「The Japan Society of Design」およびマークの使用ルールを定めるものとする。あわせて、意匠学会のホームページを作成するデザイナーを募集する。応募者は、ホームページの素案とともに見積もりを提出する。5月役員会はそれにもとづき候補者のなかからデザイナーを決める。

議題 8. 入退会者の承認について

入会希望者：新明 琳花

退会の確認：片倉 葵、山形 政昭

承認された。

議題 9. 来年度のスケジュール <https://bit.ly/3AkbDte>

4月20日（土） 運営メンバー＋HP ワーキング合同

5月25日（土） 5月例会 *役員会 近畿大学

6月1日（土） 芸術学関連学会連合シンポジウム（東洋大学）

6月15日（土） デザイン関連学会シンポジウム
（東北芸術工科大学）オンライン

8月22日（木） 意匠学会大会 *役員会（長野大学）

8月23日（金） 意匠学会大会 *総会 *懇親会

8月24日（土） 意匠学会大会

エクスカージョン & シンポジウム

11月未定（土） 11月例会 *役員会（未定）

11月末日（土） ウィリアム・モリス研究会
（仙台メディアテーク予定）

2月未定（土） 2月例会 *役員会（未定）

〔報告事項〕

①会員名簿等の電子化について

会員名簿に加え、入退会業務、選挙において、オンライン化することはすでに役員会において承認されている。見積もりは、初期設定費用（18万円程度）選挙設定費用（5万円程度）名簿作成（18万円程度）、加えて年維持費用（20万円程度）選挙時費用（5万円程度）と出てきた。事務作業を可能なかぎり減らすため、電子システムを入れることになっているが、慎重を期すために来年度に導入するとしている。

②学会各賞の選考状況について

学会賞選考委員会より選考状況について報告があった。次回から、学会賞の推薦のための申し込みフォームをメールで周知するとともに、ホームページからダウンロードできるようにすることが確認された。

③未納者および退会者への対応について

前回の役員会にて審議した件が確認された。未納者が94名近くいることから、当面の対応として、可能なかぎり連絡をとって、未払い分を請求する。会則第7条では「2年以上の会費滞納者は退会したものとみなすことができる」とあるが、運用上、3年以上の未払い者を、自動的に退会とする。退会希望者で未納があった場合、未納分を請求する。

会報担当連絡先

〒272-8512 千葉県市川市国府台1丁目3番1号 千葉商科大学 7号館2階 教員談話室
吉羽一之 宛 Tel : 047-373-9967 (研究室直通) E-mail : kyoshiha@cuc.ac.jp